

えっ！そんなに変わるの？Office 2007

来年1月末に次期Windowsの発売が決まりましたが、もう1つ忘れていけないのが次期Officeです。みなさんも会社や自宅でOffice(WordやExcel、Outlook)をお使いのことと思いますが、今回は10年ぶりの大変身。新しいOfficeに飛びつく前にちょっとチェック！

次期Officeの新しい「顔」は、初心者優しく、エキスパートに厳しい？

次期Officeは、これまでのOfficeの画面とガラリと変わります。以前ご紹介したタブブラウザのように、ExcelやWordの画面にも「タブ」が採用されました。他にもたくさんの機能が追加され、大きく変わるOffice 2007をExcelを例にチェックして見ました。導入前にご覧下さい。

■グループ化されたアイコンでらくらく操作

今度のExcelは「タブ」で機能が分けられ、そのタブの中でも「グループ」にまとめられてアイコンが並びます。例えばセルの挿入とセルの削除。同じセルの操作ですが、これまでは「セルの挿入」メニューから「セル」を選択し、「セルの削除」は「編集」メニューから「削除」を選択してました。新しいExcelではセルの挿入も削除も「ホーム」タブの「セル」グループにまとめられています。ほんの些細な事のように、直感的に操作出来るようになり、Excel初心者にも分かりやすい操作性になっています。

■あっ！こんな事も出来たんだ！

タブを切替えて表示することにより、これまでよりたくさんの機能を表示しながら、アイコンボタンは以前より大きくなりました。また、これまではメニュー構造の下位にひっそり隠れるように存在した機能が、前面に現れるようにもなりました。例えば「枠線」。通常はセルの区切りとして表示させておきたいのですが、帳票などをExcelで作成した場合、枠線は消したいですよね。これまでは「ツール」→「オプション」→「表示」タブを開き、「枠線」のチェックを外さなければなりません。新しいExcelでは、「表示」タブを開けば「表示/非表示」グループに「枠線」のチェックが出てきます。他にも、今まで「裏技」「隠しコマンド」と呼ばれていたものが、ワンクリックで出来るようになっていたりもします。新しいExcelは「技」を探す楽しみもあります。エキスパートユーザーにとっては自慢のネタが少し減ってしまうかも知れませんね。

細かい進化から、大きな変化まで。10年ぶりだから力が入ってます。

「タブ」も新機能ですが、他にも新機能が満載です。すべてをご紹介できませんがみなさんも良く使いそうな代表的な便利機能をいくつか紹介します。

■印刷プレビューしながら編集「ページレイアウトビュー」

Wordと違いExcelは印刷時のページレイアウトが面倒です。作業画面と印刷プレビューを何度も切替えて確かめて印刷した経験はないですか。新しいExcelに追加された「ページレイアウトビュー」は余白やヘッダー、フッターも表示された画面で編集作業が行えます。このモードで使えば、Wordのように、実際の印刷イメージを意識しながら編集作業ができます。ただし100%印刷プレビューと同じではありませんので、印刷前は必ず印刷プレビューで確認することをお忘れなく。

■中央揃えしない「セルの結合」

複数のセルを結合して1つのセルとして使用する「セルの結合」。みなさんもよく使用すると思います。でもこれまでのExcelでは、「セルを結合して中央揃え」のボタンはありましたが、「セルの結合」だけをしたい場合は、「セルの書式設定」ダイアログボックスを開き、「セルの結合」を選択しなければいけませんでした。しかし、新しいExcelでは「セルを結合して中央揃え」ボタンにリストが付いていて、「セルの結合」だけを選択することが出来ます。小さなことですが、便利な進化と呼べるものです。

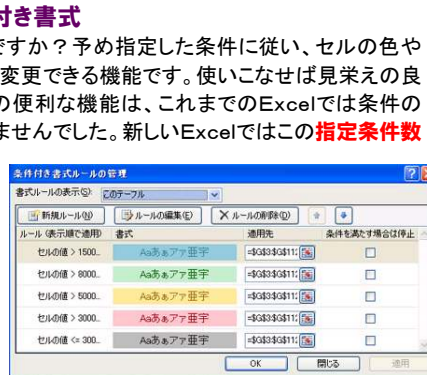
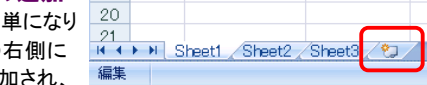


■ワンクリックでシートの追加

シートの追加(挿入)が簡単になりました。シート名のタブの右側に新規作成のアイコンが追加され、これをクリックするだけ。作業効率アップですね。

■大幅に強化！条件付き書式

条件付き書式はお使いですか？予め指定した条件に従い、セルの色や文字の色、フォントなどを変更できる機能です。使いこなせば見栄えの良い表を作成できます。この便利な機能は、これまでのExcelでは条件の指定が3つまでしか出来ませんでした。新しいExcelではこの指定条件数の上限がなくなり、これまでよりも細かい指定が出来るようになりました。指定方法も簡単になりましたので、まだ使用したことのない方は、新しいExcelで是非挑戦してください。



▲タブを使った新メニュー表示「リボン」



必読！旧Officeではファイルが開けません！！

新機能の「タブ」ですが、機能ごとに「グループ」化され、綺麗に整理されたのは良いのですが、これまでExcelをバリバリ使いこなしていた方にとっては、「あれっ？あの機能はどこへ・・・？」と言うこともあるはず。初心者にとっては直感的になり、使いやすくなった反面、エキスパートユーザーにとってはもう一度機能の在処を覚え直すなくてはならなくなりました。

もう1つ大きな問題点があります。多くの新機能を追加した新しいExcelは拡張子がこれまでの「xls」から「xlsx」に変更されます。(Wordは「doc」から「docx」へ、PowerPointは「ppt」から「pptx」へ拡張子が変わります)このため新しいExcelで作成したxlsxファイルはこれまでのExcelでは開くことすら出来ません。新しいExcelで作成したファイルを97-2003形式の「xls」で保存することは出来ますが、それでは新しいExcelの機能は使用できません。このことは、Excelファイルの受け渡しなどに大きく関係してきます。新しいExcelで作成したファイル(xlsx)は、簡単に他の人に渡せないと言うことです。渡されても新しいExcelを持っていないと開けないのですから。

Microsoftはこの問題を解決するために、アドオンと呼ばれるツールを無償公開しています。(Word/Excel/PowerPoint 2007 ファイル形式用 Microsoft Office 互換機能パック)これは自分でダウンロードセンターからダウンロードしてインストールしなければいけません。すぐに見つかる所にはなく、かなり探さなければなりませんので面倒です。これではOffice 2007の敷居が高くなってしまいますね。せめてOffice Updateでインストールできればいいのに・・・。

ところでOffice 2007の発売はいつ？

ズバリ！2007年1月30日、Windows Vistaと同時に発売！のようです。マイクロソフトのホームページにはまだ、掲載されていないようですが、パソコン関連サイトでは11月9日にマイクロソフトが発表したと報じられています。来年の1月末はVistaとOfficeでお財布が空っぽになりそうです。

参考価格

Office Personal 2007・・・47,000円前後(23,000円前後)

Office Standard 2007・・・55,000円前後(29,000円前後)

Office Professional 2007・・・63,000円前後(39,000円前後)

※カッコ内はアップグレード版

開発室から

今度の「ウイルスバスター2007」は1ライセンスで3台までインストールして使用できるようになりました。(個人ユーザーだけです。法人ユーザーは1ライセンス1台です。)実は私は5ライセンスも持っています。15台もパソコンがないのに・・・。ユーザーとしては大変ありがたい変更なのですが、ライセンスの更新をしたばかりなので、なんだか損した気分です。タイミングって大切ですね。